



そう、
では、
お礼に
いただき

たん

シユダ権
ベカートを上げて
尻をこちらに向けてください

女♡
シスタ♂
に♡
懺悔すべし



あはっ♡♡

おちゅ♡

おちゅ♡

ああっ♡♡

ほんとエロい
シスターだなっ

きもちいい♡♡

なあ、
いま催眠解いたら
どうなるかな

おちゅ♡

おあ♡



ひひひ
やってみんぜ

もっとお♡♡
もっとお♡♡

おあ♡

おあ♡

おあ♡

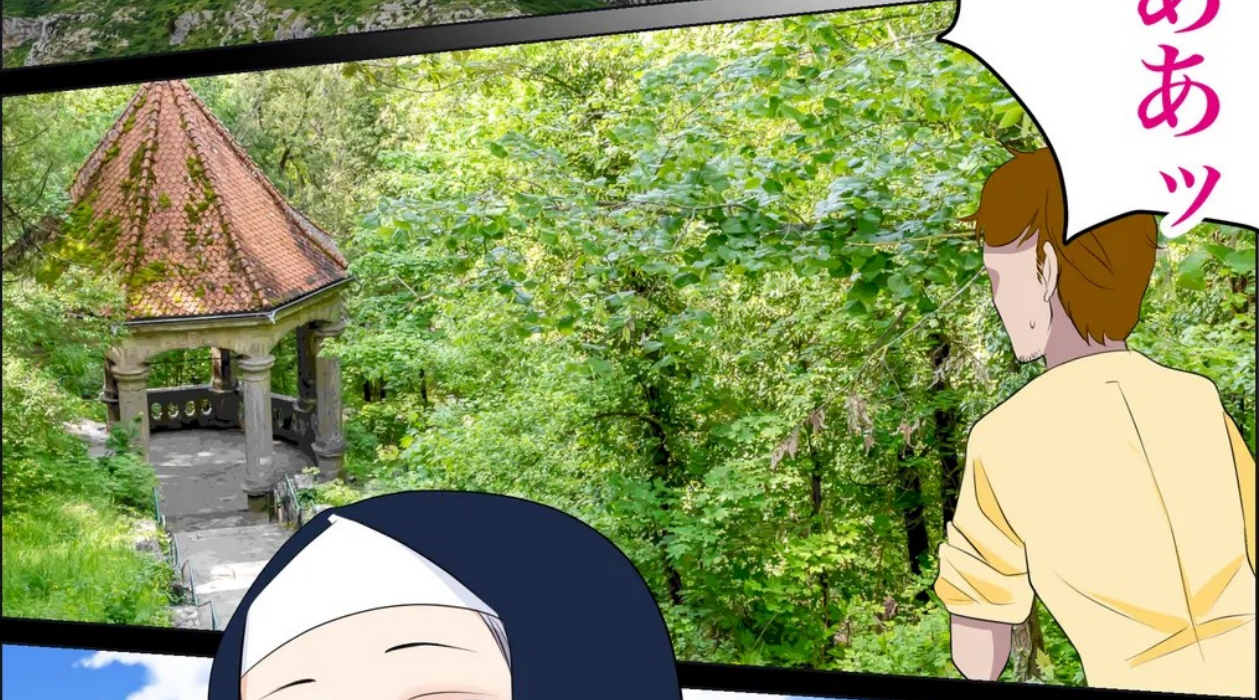


.....

えっ？

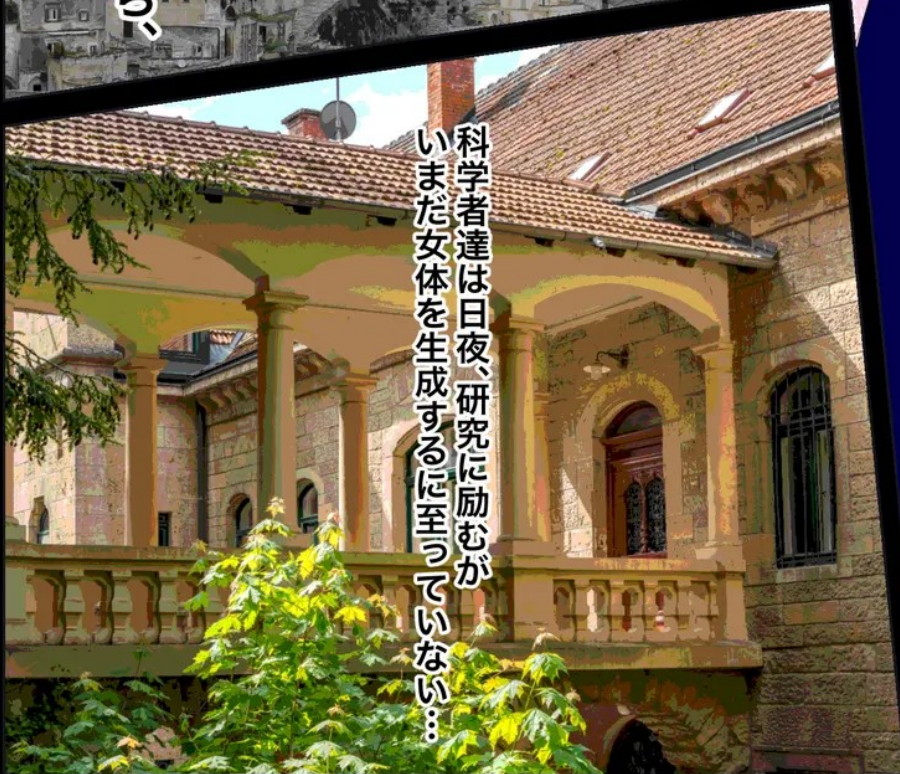
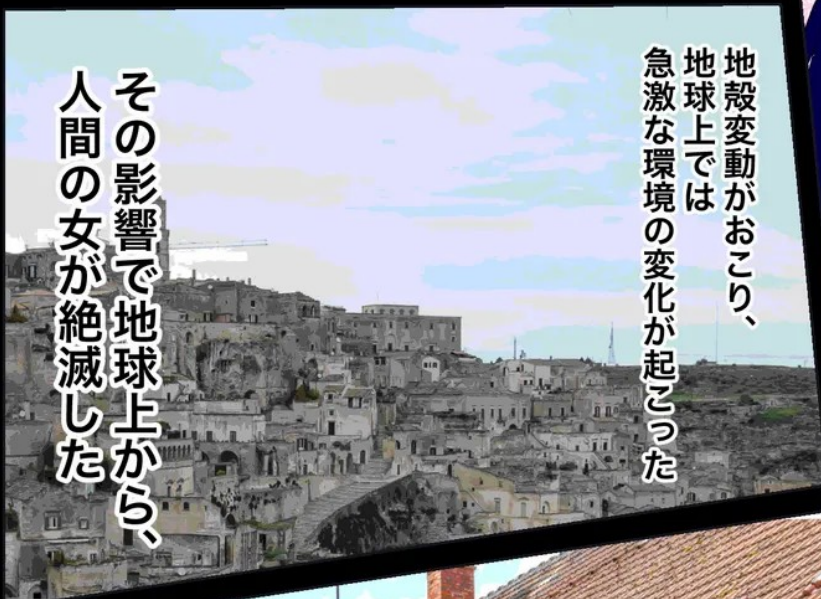
汝 ♡
シスター♂
に ♡
懺悔すべし ♡

一週間前



いやあああああッ







厄災から10年……

人類は
いまだかつてないほどの
危機に面しています。

それでも
希望を失わないでください

「科学者」たちが
この危機を脱すべく
励んでおられます。

その間、
私たち「奴隷」が
できることは、ただひとつ。

祈るのです

けっして
諦めてはなりません

神はいつでも
あなた方を
見守っております



あのシスターは
女じゃないのか？

ああ、あんたか
「奴隷」狩りから
逃げてきたってのは

れっきとした男だよ
10年前に亡くなった前の
シスターの息子でなあ



シユダさまっ

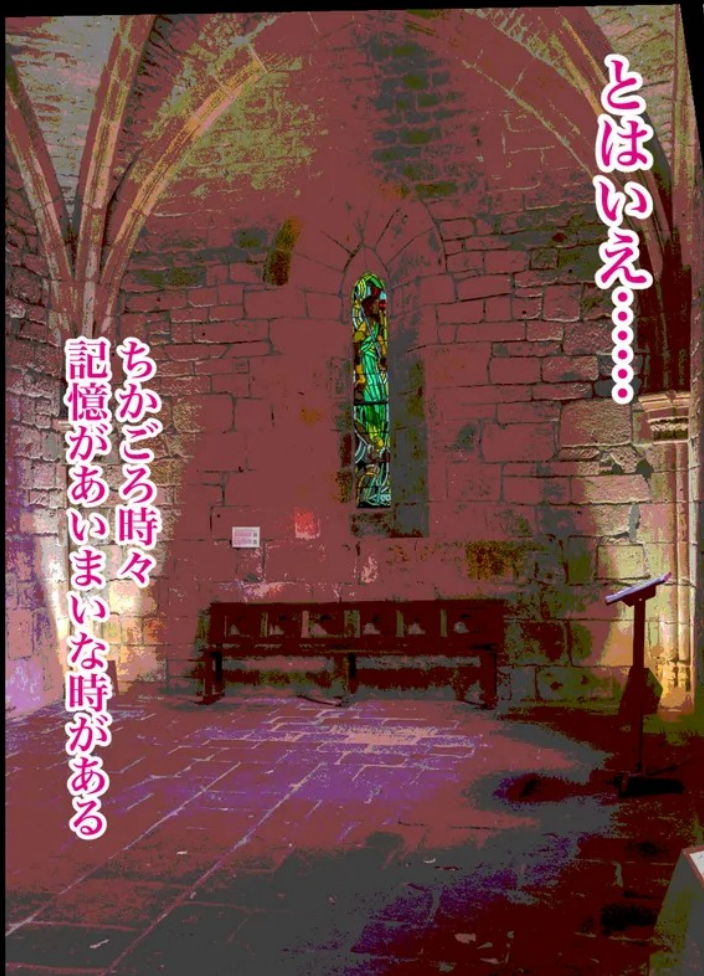
俺らがどんだけ
あのシスターに
助けられてるか……

真面目で
優しくいい子だよ



ただの立ち眩みです
心配させて
しまいました

はは、情けない……



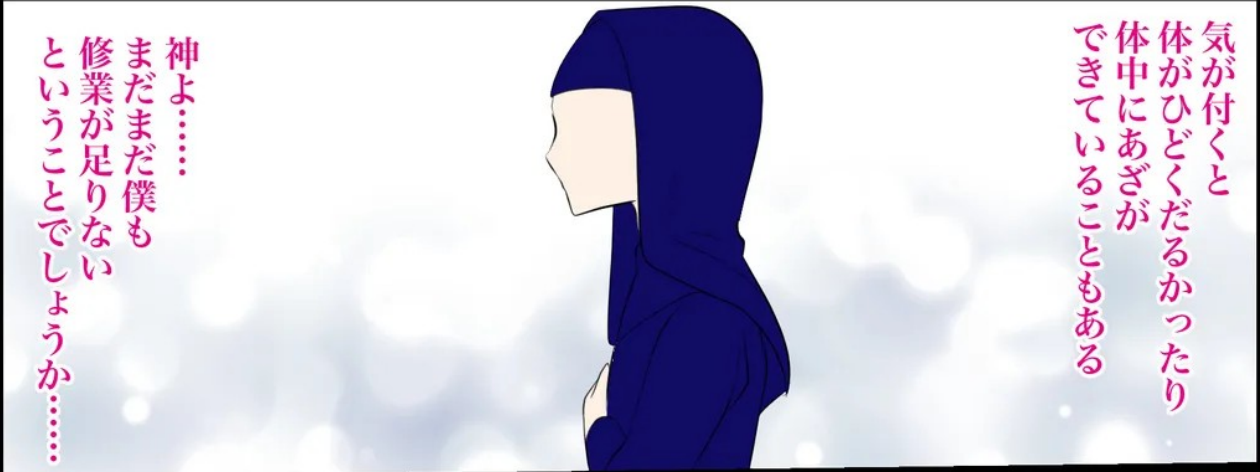
とはいえ……

ちかごろ時々
記憶があいまいな時がある



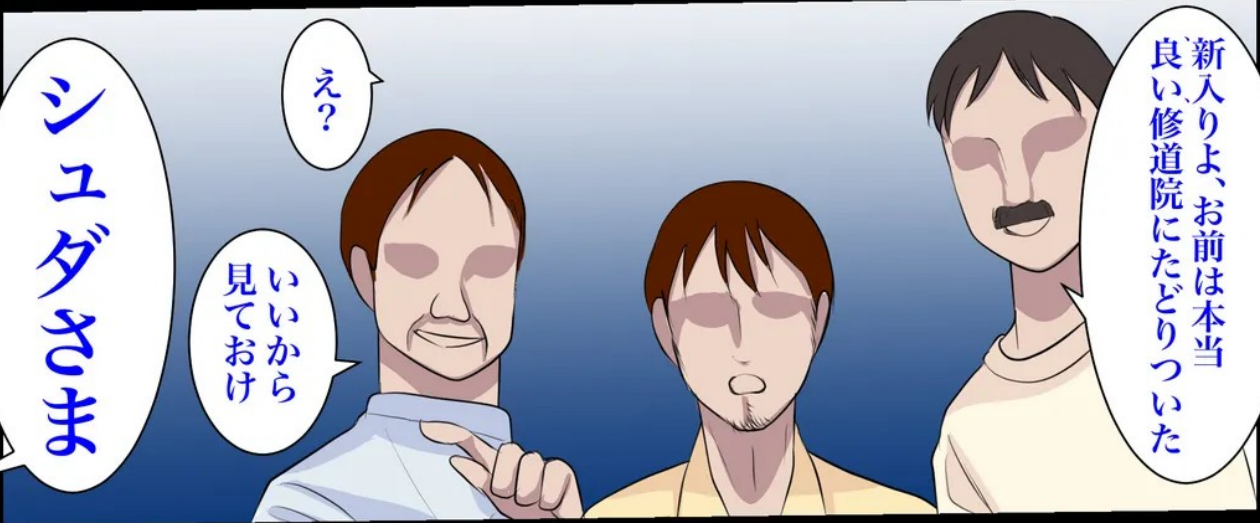
いえ、人類の危機が
迫っているこの時期に
休んでなんていられません

シユダさま
最近根を詰めすぎじゃありませんか
少しお休みになつては



気が付くと
体がひどくだるかったり
体中にあざが
できていることもある

神よ……
まだまだ僕も
修業が足りない
ということでしょうか……

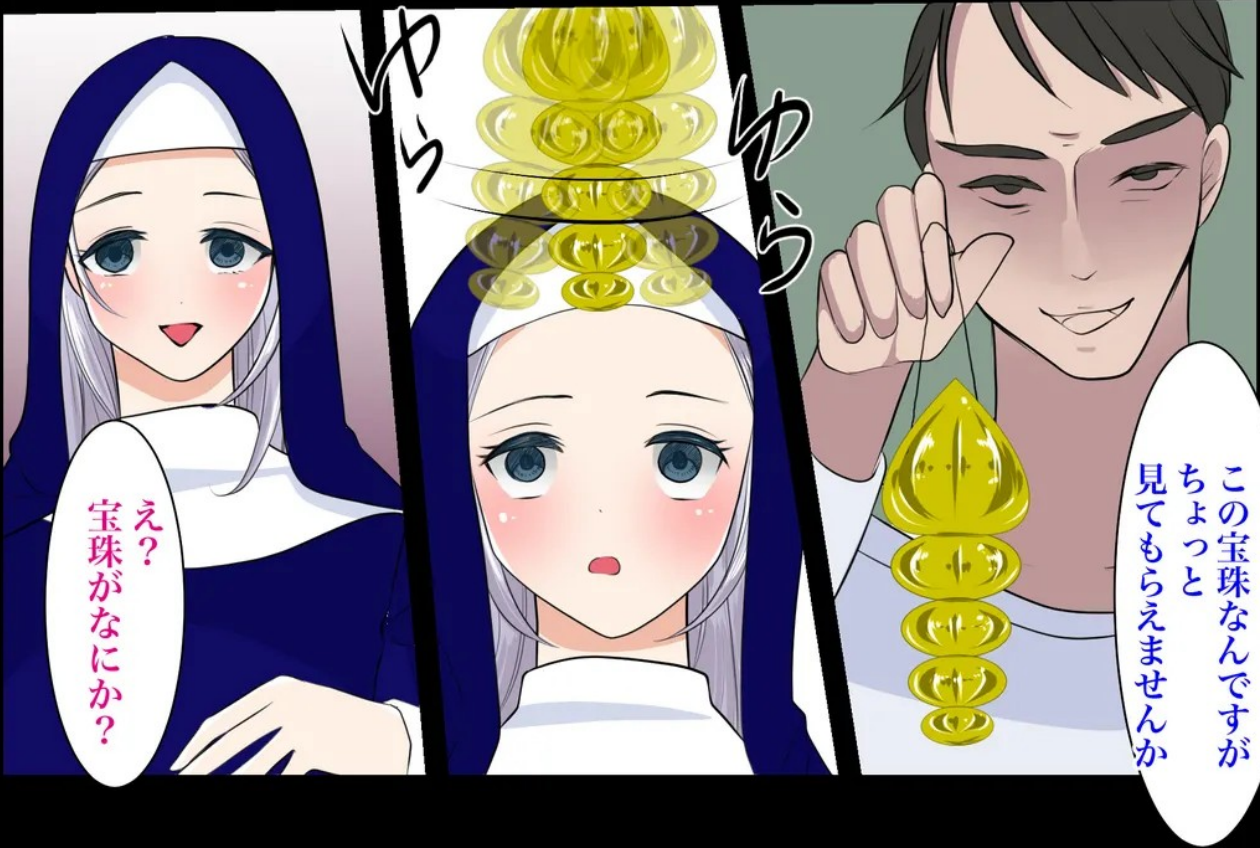


新入りよ、お前は本当
良い修道院にたどりついた

え？

いいから
見ておけ

シユダさま



この宝珠なんです
ちよつと
見てもらえませんか

え？
宝珠がなにか？

ゆら
ゆら

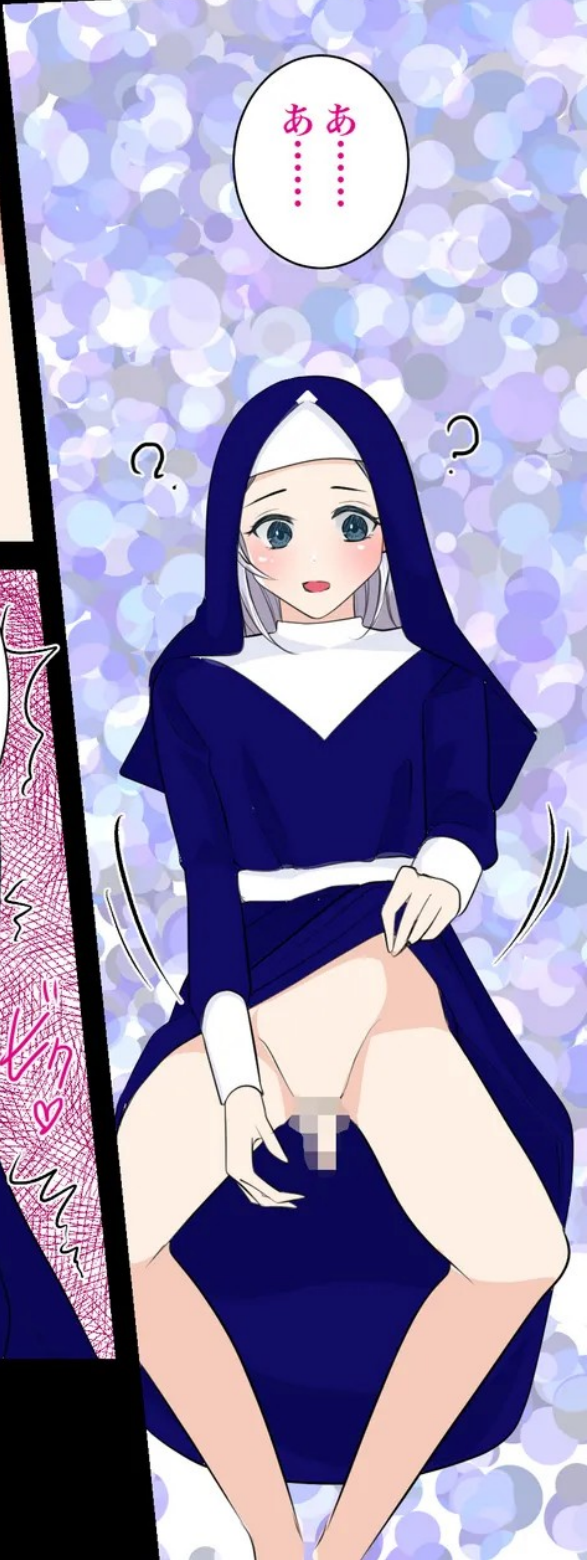


ちよっとおかしくて……
もっとよく見てください



はあっ

と、とくに
おかしなところは
ないようですが……

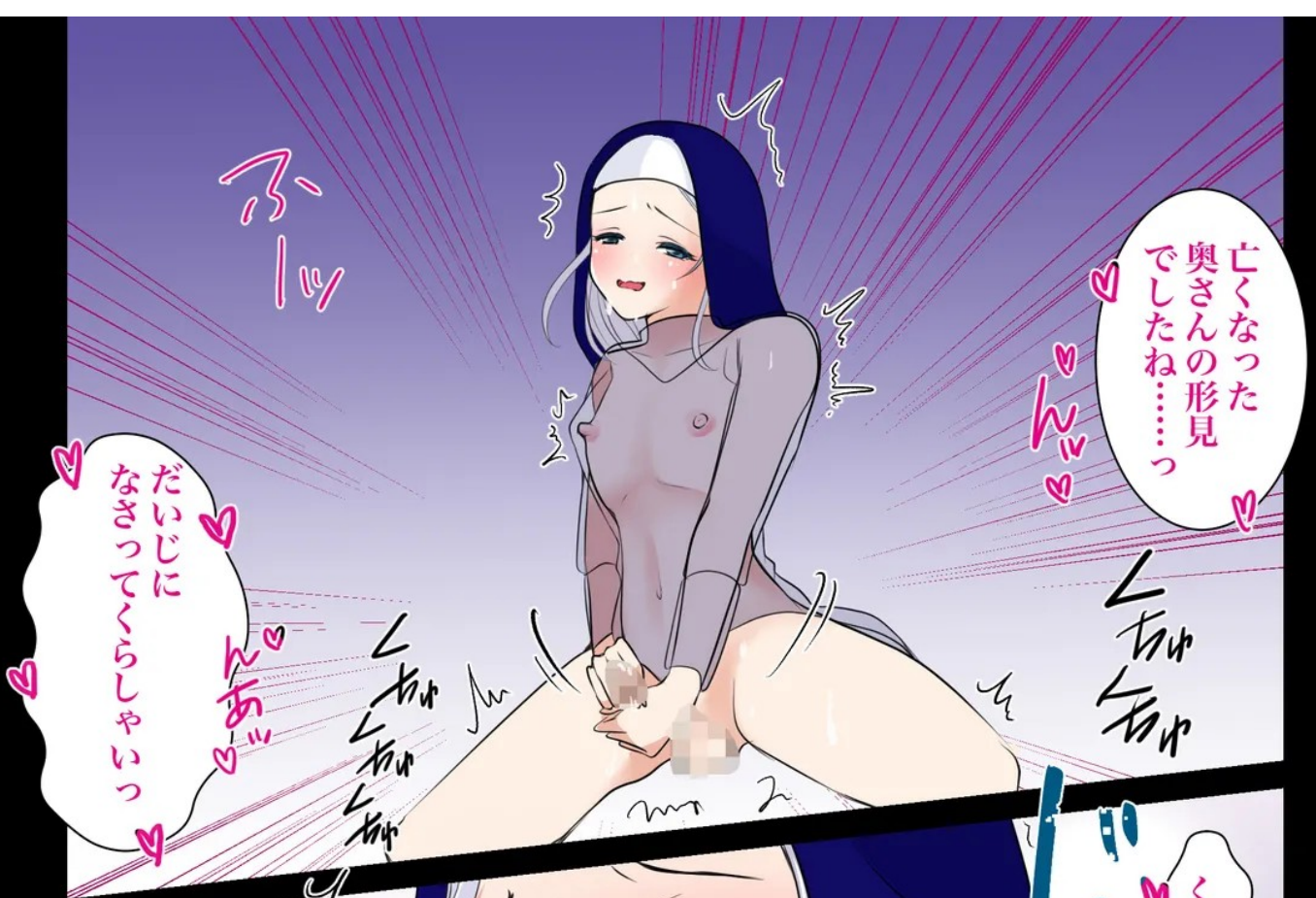


あ……
あ……



あっ
♡

そ、その宝珠はっ



亡くなった
奥さんの形見
でしたね……っ

だいじに
なさってくらしゃいっ

んんん

んんん

んんん



くうっ

んんん



誰がやっても
かかるとだから
最高だよな

?

?

シユダさまは
ああやって宝珠を揺らしてみると
簡単に催眠にかかっちゃうんだ



そうですね、
気のせいだったようです

では、また

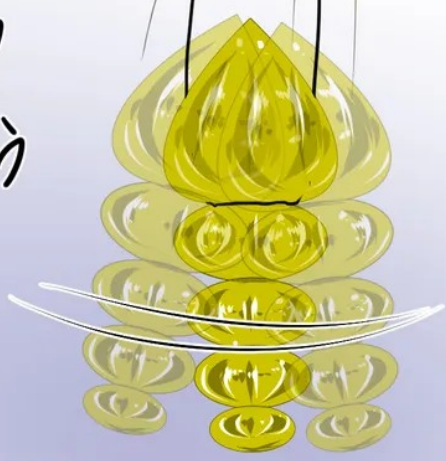
シスター!



菜園でとれたズッキーニの
味見をしてくんねーかな

え、どこに
ズッキーニが
……

ゆら

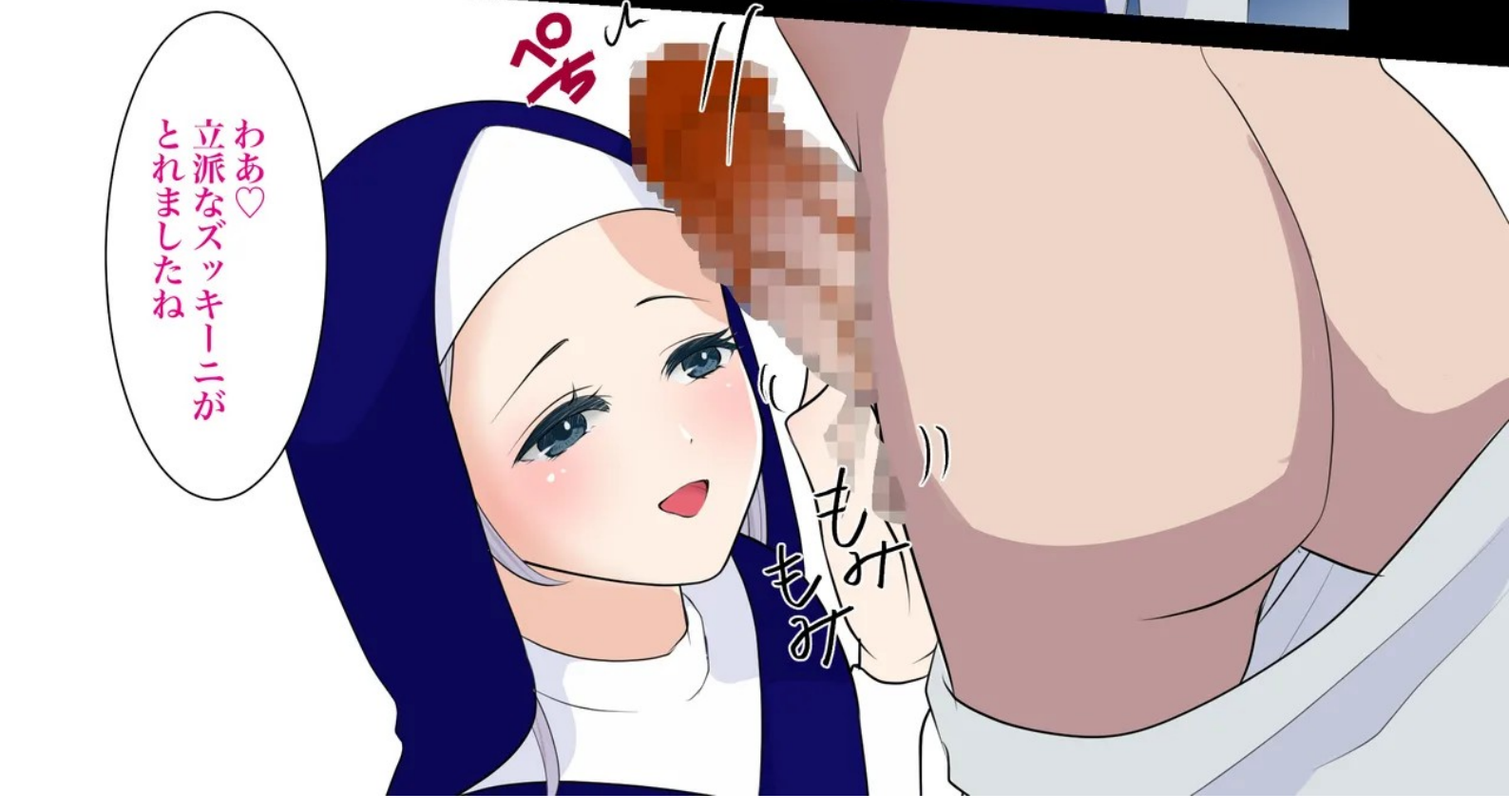


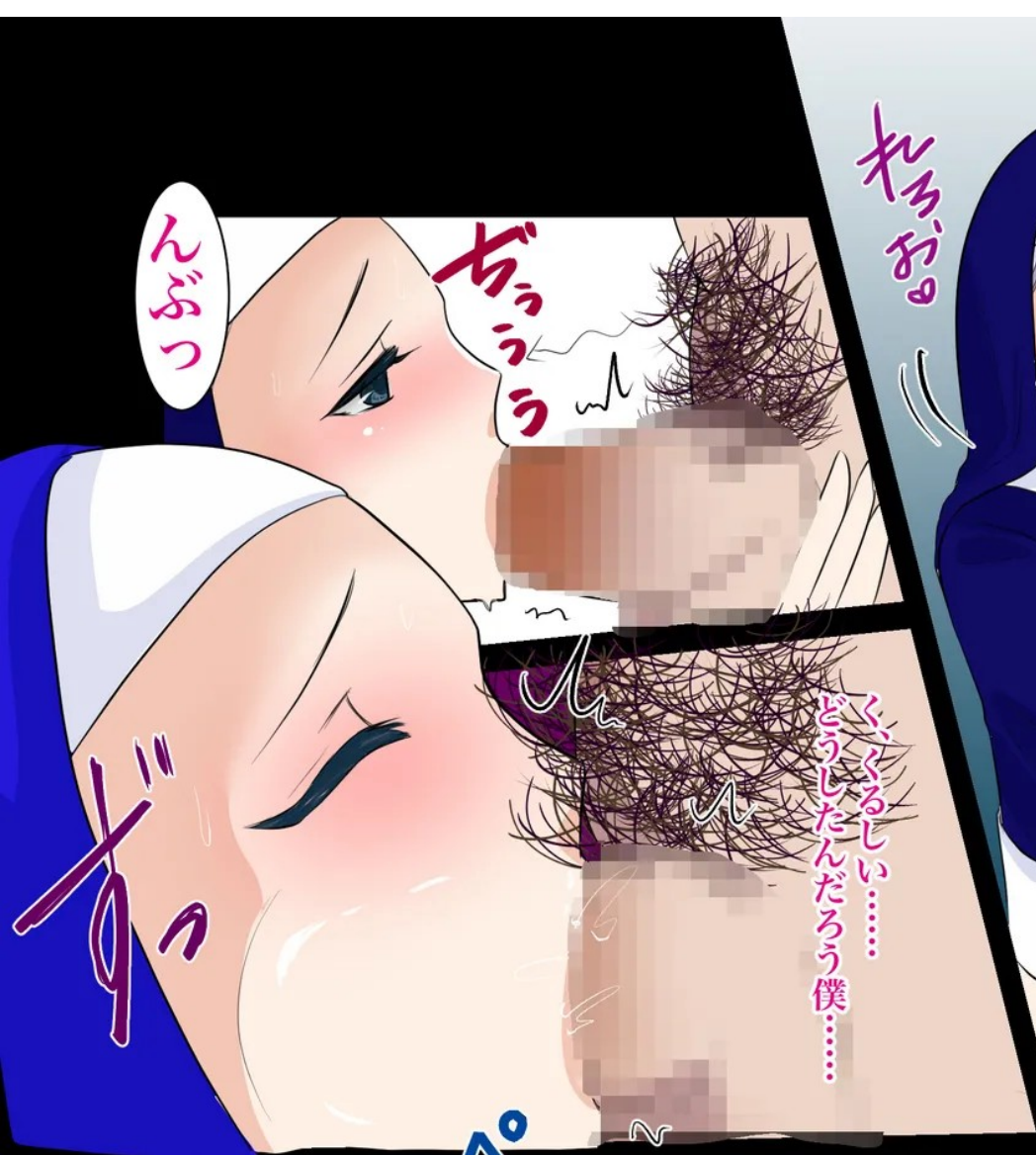
ゆら

わあ♡
立派なズッキーニが
とれましたね

7/5

もみもみ





んぎょっ

びゅっ

くくるしい……
どうしたんだろう僕……

れろお。



あれ……おかしい
ズッキーニってこんな味だったっけ？



んぎょっ

びゅっ



シユダ様、
こっちのナスもお願いします



んぎょっ

んぎょっ

んぎょっ

んぎょっ

じゅるるるるるる
んぎょっ

おお……シスター
味見が上手になられましたね

ちゅっ♡

ちゅっ♡
ちゅっ♡

もっと強く吸って
くださいよ

おかしい……
ただ野菜の味見をしただけなのに
なんだか変な気持ちになってる……

くちゅ
ぶちゅ

んぢゅ♡
んぢゅ♡

ぢゅる♡
ははっ♡

ぢゅる

シユダ様!
手を休めないで
もっとしっかりと握って!

くちゅ♡

れる
れる

ははっ♡
ははっ♡

ぢゅる♡
ぢゅる♡



ググッ
うぐつ

ズン
へへ……
喉の締め付けが
たまんねえな……



ググッ
でも皆さんたちが
生懸命育てた野菜なんだから、
吐き出すわけにはいかない……

ズン
ググッ
この野菜たちは
くるしい……
なんか変な味がする



れろ
それは良かった
もっと食っていいんですよ

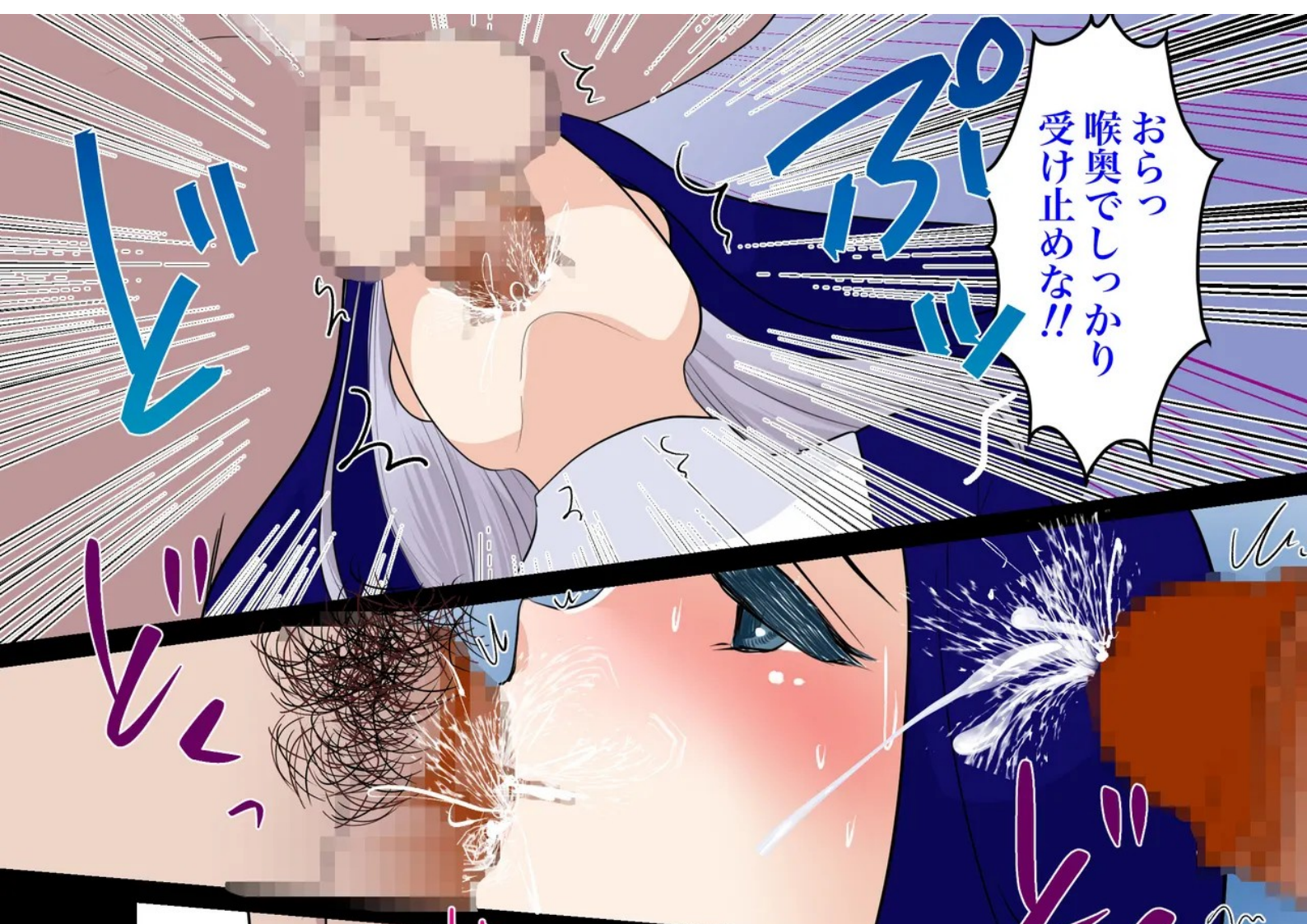
れろ
あああ
おいしいいれすっ♡



ググッ
うれひいっ
ありがとう
ございませしゅっ♡♡



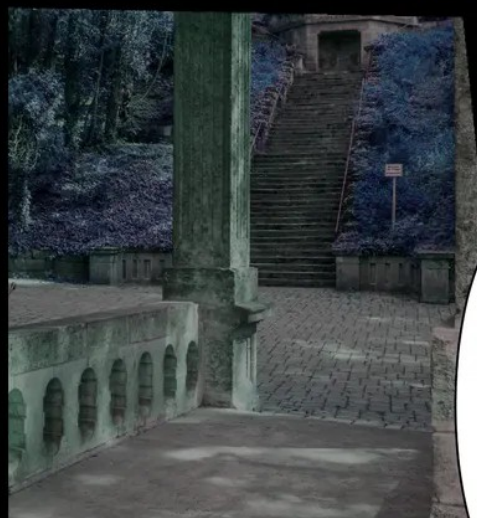
ググッ
ググッ
シュダさま、
お味はいかがですか？



おらっ
喉奥でしっかり
受け止めな!!



シユダ様
うまかった
ですかい



たいへん美味で
ございました♡

はっ♡

くく……
そりやあ
よかった

はっ♡

また頼みますぜ

んっ



口の中が変な臭い……
こゝこの臭いは……



こんなところで
寝てしまったようだ……

なんてことを
考えるんだほくは！

シスターは
性的なものは神に
禁じられている！

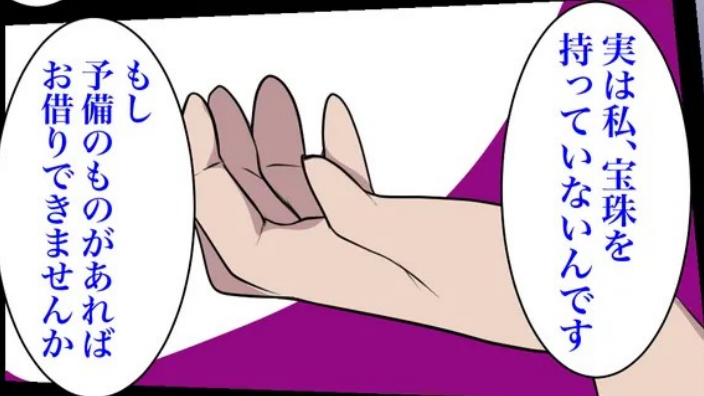
考えるだけでも
おぞましい……
神よ……
お許し給え……

シスター！



こんな夜遅くまで
お祈りですか
熱心なんですね

あなたは
昨日の……



実は私、宝珠を
持っていないんです

もし
予備のものがあれば
お借りできませんか



それではこれを

この修道院のシスターが
代々受け継いできた宝珠です

そんな
大事なものを……

かまいません
隣人が困っていたら
手を差し伸べるのは
当然のことですから

そうですか……
では、シュダ様には
お礼に気持ちよくなつて
いただきましょう

シュダ様
スカートを上げて
尻をこちらに向けてください

このようですか？

ん
ん
ん

パンツも履いて
ないんですか
はしたないですね

パン
チン

あひっ!!
か、神は下着を着けることを
お許しになっていません……っ

ああ……
あなた方の神は
そうでしたね……

では尻の穴を
自分で掘げることとは？

むあ
♡

ああ……っ
♡
お、お許しになっていましえん……っ
♡

あれ……なんかお尻がスースーする
それに、なんだかムズムズする……

むい
♡

シスター、
こういう時はなんと
お祈りするのですか

お、お祈り
申しあげます……っ

ぼくの……っ、
♡
ぼくの汚くもいやしいアナルに……
♡

まあ、
♡
あなたさまの聖棒を
埋め込んでください……っ!
♡

まあ、
♡

え……？
ぼくは今何で……？

よく
できました……っ！！

お

おうっ
おうっ
おうっ
おうっ
♡♡♡♡♡

あああ
ありがとう
ごじやいましゅ〜♡♡♡♡♡

パン

パン

んとはしたない
シスターだなっ

ぼくっ
ぼくのなかっ

地獄に墮ちるぞ！！

グ
グ
グ

パン

♡♡♡♡♡
聖棒でもっと
ごりごりしてえええっ

グ
グ
グ



いやああああ
やらっ、かみしやまっ
み、みないれっ



おかしい……
お尻が熱くて
きゅんきゅんする……

おうおうおッ
おうっ?
おう?!



はあっ♡

おおおおお

んんん♡

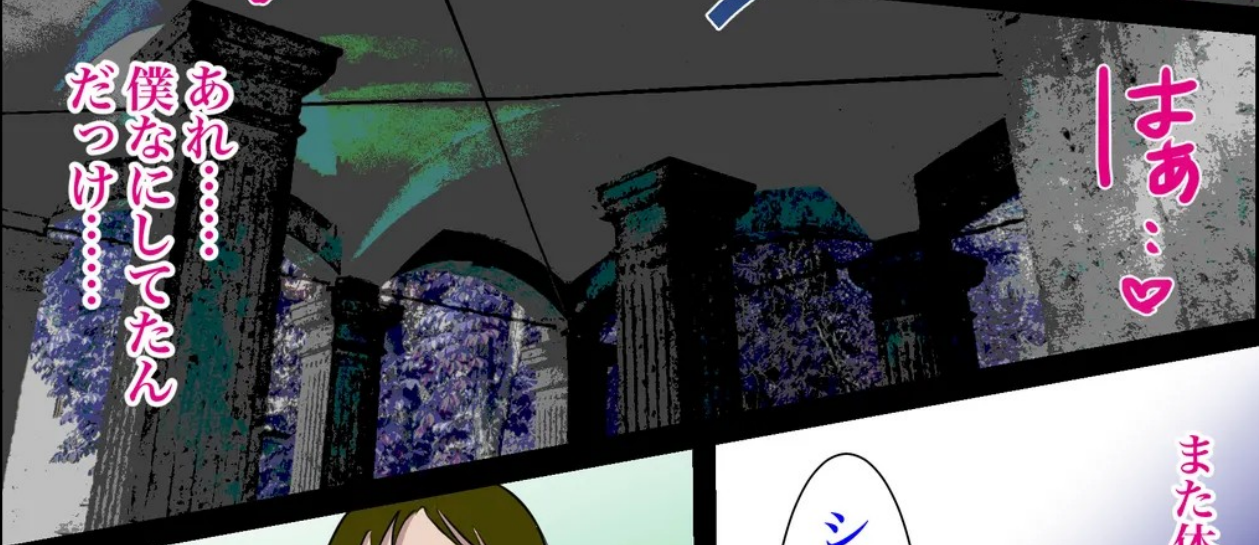
いぐっ
いぐっ
いぐっ
いぐっ
いぐっ
いぐっ



まあ♡



まあ♡



あれ……
僕なにしてたんだっけ……

まあ……♡



そろそろ
夜のお祈りの時刻
なのですが……



シユダさま

また体がだるい……



ああ……
申し訳ありません……



シスターとあろう
お方がはしたない

まあ♡

私が沈めて
差し上げましょう

まあ♡

シユダ様、
神に祝福を

は、はい
……

まあ♡

ふ♡

わ、われらが神よ……っ
申し上げま……すっ

皆さんたちも
真面目に
お勤めされている……

かならずや
神も見えておられる
ことだろう

つぶ♡

しゅ♡

が♡

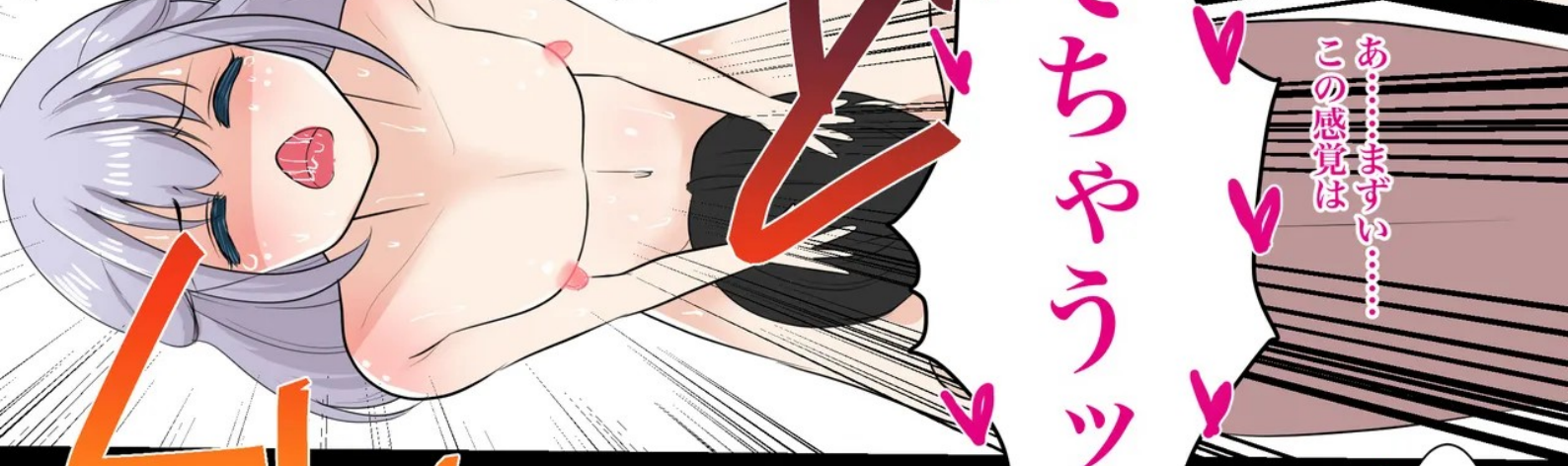
が♡



はあつ
はあつ

ううんっ!

はあ♡



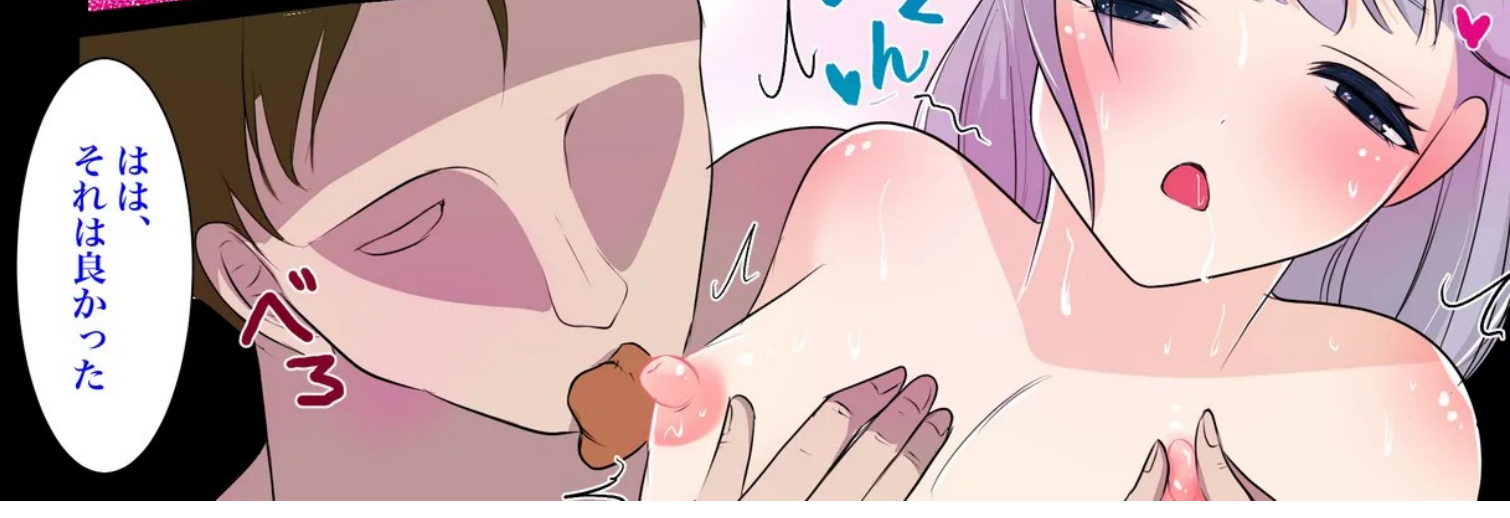
でちやうツ

あ……まずい……
この感覚は



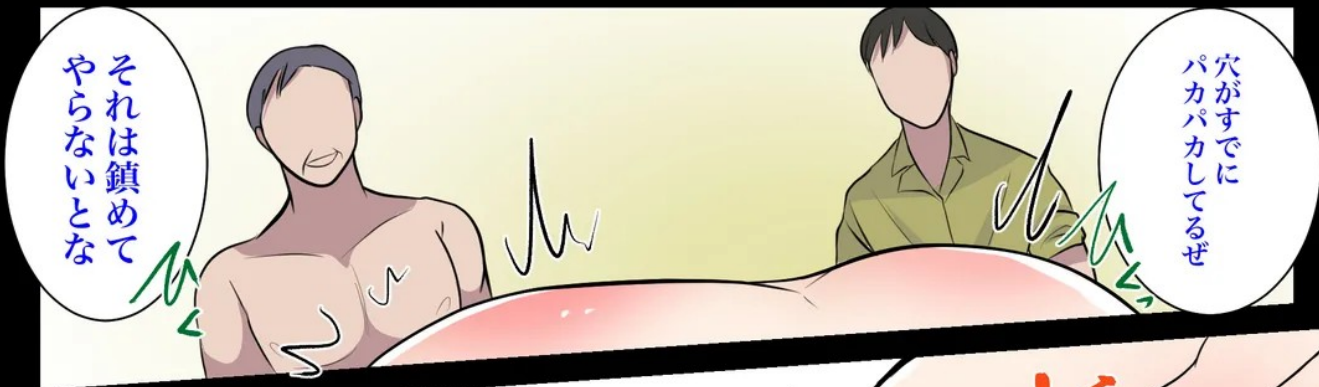
きもちいい……

はあ♡



はは、
それは良かった

べろ







まあ♡

シスター
お待ちください



後ろから
聖液がでています

宝珠で
栓をしましょう



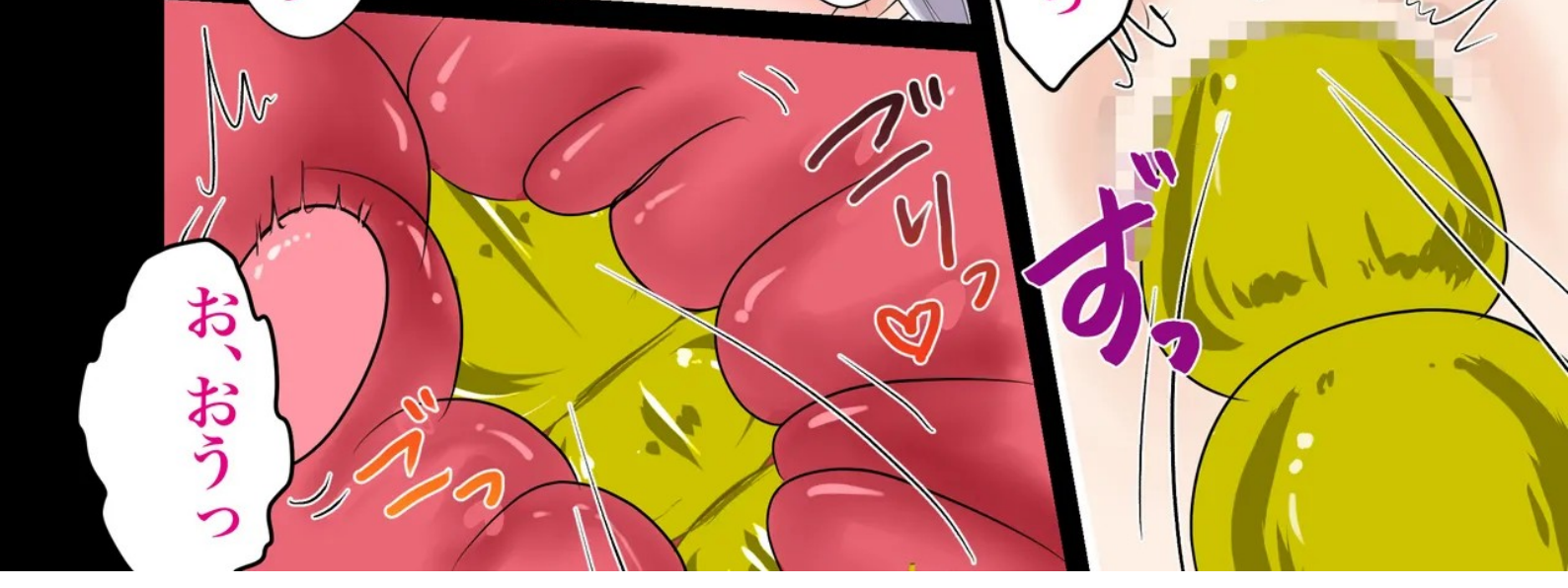
あ……♡



いいえっ、
なんでもありませんっ

いかが
されましたか？

ふううんっ



おおっ
おおっ

ずっ

気持いい
♡♡

ふ
っ♡

まあ♡



頭がぼーっとして
体も自分のものじゃない
みたいだ……

ぼく、どうしちゃったん
だろう……



はううっ

グ
ー
い
っ



ううっ♡

ジュッ♡
ジュッ♡

おかしい……
お尻の違和感が
ひどい……

まあ♡



まあ♡

じゅっ♡
じゅっ♡

じゅっ♡
じゅっ♡

抜けないだけなら
まだしも……

とび



シユダ様
朝のお祈りの時間です



♡♡♡
お、お祈り
申し上げます

♡♡♡
ぢゅる♡

♡♡♡
我らが神よ
愚者たる我らを導きたまえ

♡♡♡
ずっ♡

♡♡♡
ほあ♡

♡♡♡
ずっ♡

シユダ様
あなたがいやらしいケツ穴が
緩みまくったところを
神様に見て頂きましょう

♡♡♡
たろあ♡

♡♡♡
たろ♡

♡♡♡
ぢゅる♡





ぐわば

あば

神に仕える身だとは思えないほど淫乱だっ

ず

あ



ぐわら

なんて汚らしい音を出しているんだっ

あ

あ

ここですかっ
ここがいいのですね
シスターっ

ここですかっ

ここがいいのですね
シスターっ



あ

ぐわ

この汚れきつた穴から発せられる歌をもっとお聞かせください

あ

あ

ズ

ぐわ

あ

ズ

あ

神がこの音を聞いたらどう思うでしょうねっ

あ



ああ♡

おい♡

催眠術何て関係ねえ
もとから淫乱だったってことよ

ああ♡

パン♡

へへ……
良いこと考えたぜ……

あ♡

パン♡

催眠術なんて
俺ら使えるわけないのにな

それにしてもシユダ様
なんであんなのでかかるとだ？

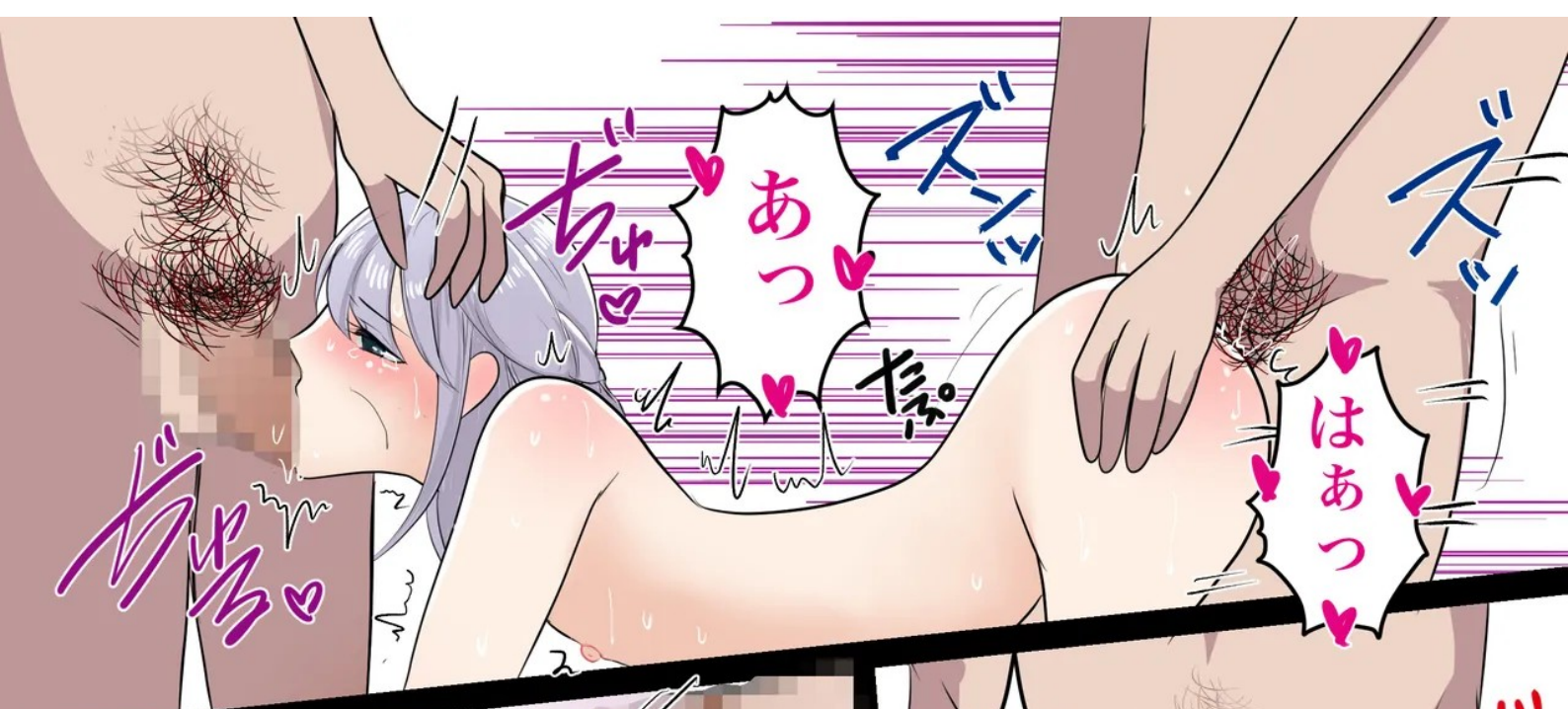
あ♡

んんんんん

ふっ♡

あ♡

あ♡





ははっ、やっと
正気に戻ったか

かかるのも簡単なら
解けるのも簡単だったな

み、みなさん
一体何を……

や……
離してください



ぼくはここで
なにを……

……あ、あれ？



何を今さら言ってるんだ？
ここをこんなにしてよ

んんん♡

んんん♡

おお……
俺のチンポを
吸い付いて
はなさないぜ♡

あやほ♡

あやほ♡

は……っ？
うそだ……っ

んんん♡

けけっ
なにがうそな
もんか

おうっ!!

ズッ

あやほ♡

んんん♡

んんん♡

やッ……辞めてください

地獄に堕ちて
しまいますよ……っ

こんなこと
神がお許しになっていませんっ

ハッ
俺らにとつちや
この世が地獄よ

せめてシスターが
楽しませてくれなきや

中には
出さないでください……っ!!

あぁあぁあッ
♡♡♡

お、お願いですっ
中には……っ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ



信じられない……



神の教えに背いて……
十年間いかなるときも
仕えていた神に

それだというのに……

ぼくは汚れてしまった



あの真面目な皆さんたちが……
朝のお勤めも、
菜園の仕事も文句ひとつ言わずに
手伝ってくださっていたのに



この身体が
こんなにも
男たちの熱を求めている

神よ、これが貴方の答えですか



へへ、
チンポを啜えたまま
離さないぜ

すげええっ
中がトロトロだっ

ふっあああ♡♡♡

きもちいい♡♡♡



きもちいいいつ

んんんん



ああああああ

うっ♡♡♡

あああうんっ



ハハハ

おっおっ
おっおっ

んんんん

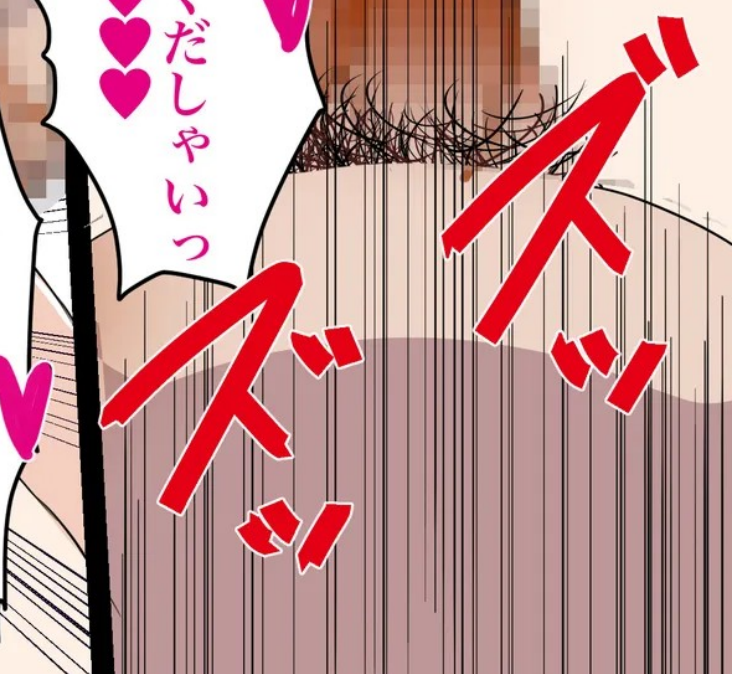
ハハハ

んんんん

もつと、
奥を責めてくださやいつ



らめつ
もつともつとおお



ズ
ズ



つぎは俺だつ

まあ♡

締め付け
やべえ

中がトロトロで
チンポ溶けるッ

まあ♡

ん



すげえ
乳首がビンビンに
勃ってきたぜ

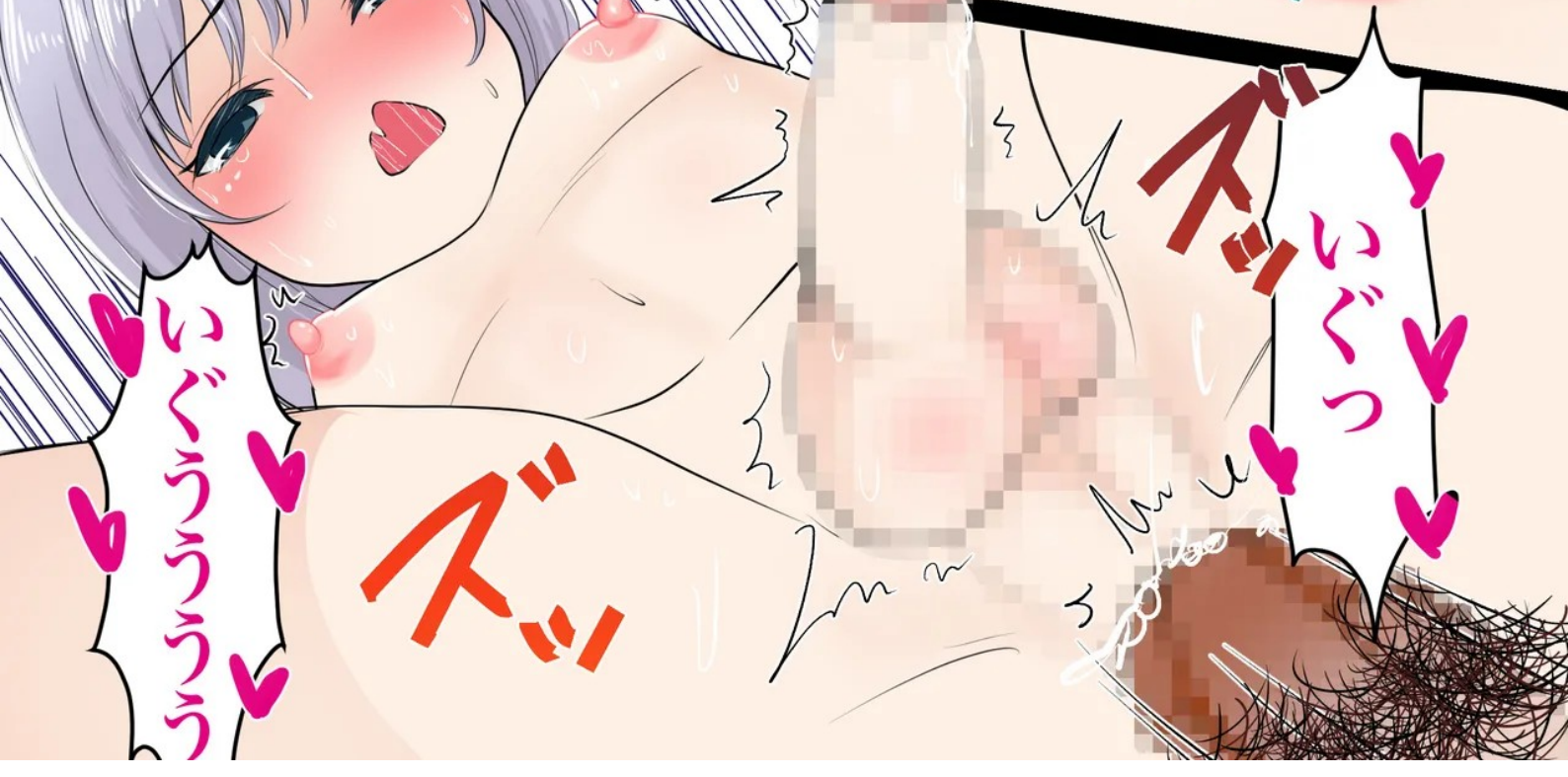
♡

ん

ぺりっ

んんん

んんん



いぐっ

ズッ

ズッ

いぐっ
いぐっ
いぐっ
いぐっ



♡ お掃除も
シスターのお仕事です
からあ♡♡



シユダ様は
本当エライなあ
いつなんどきも
シスターの仕事を
忘れないんだからな



あ♡
ぼくは皆さんあつての
シスターです♡♡

まあ♡



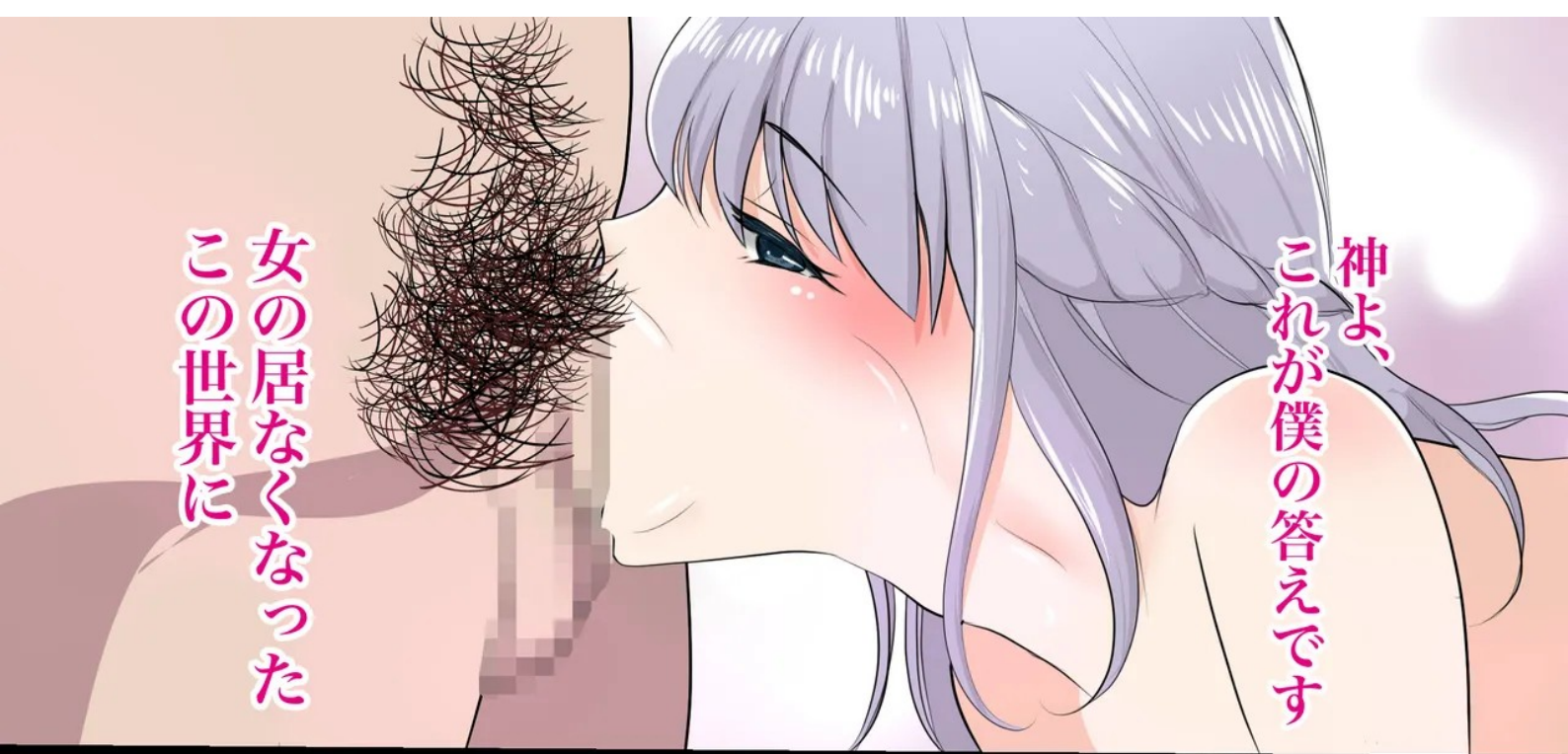
もつと

もつと……

ああ……愛しい皆さんの聖棒……♡♡



皆さんの愛を
僕に注いでください♡♡



神よ、
これが僕の答えです

女の居なくなつた
この世界に



それでもせめてものやすらぎを

貴方の教えに背こうとも、
ぼくはこの者たちの妻となつて生きましよう